

# 社会資本総合整備計画

中条駅西口周辺地区都市再生整備計画

第2回変更

平成27年2月

新潟県胎内市

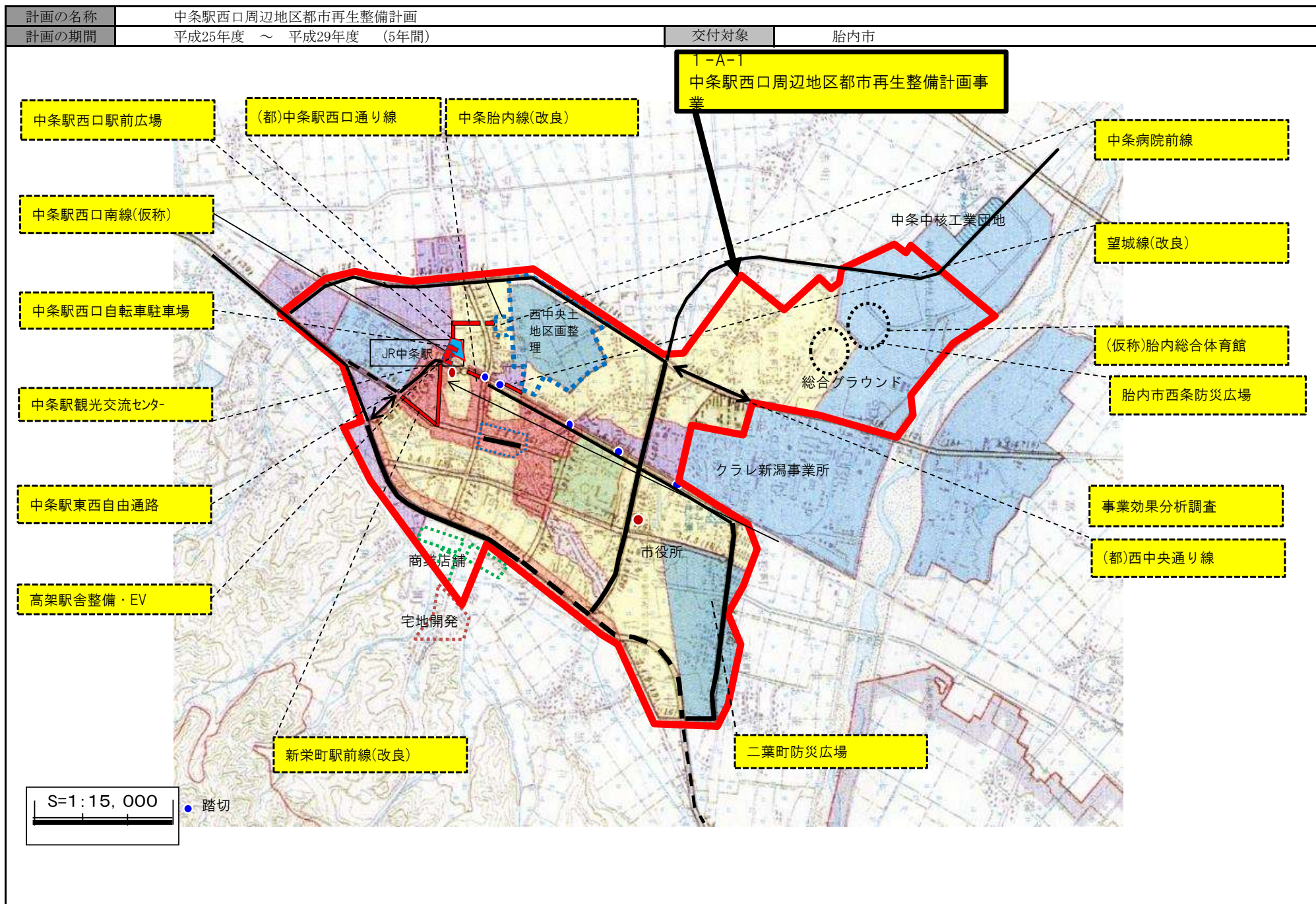


社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成 27 年 2 月 日

計画の名称		中条駅西口周辺地区都市再生整備計画																														
計画の期間		平成 25 年度 ～ 平成 29 年度（5 年間）				交付対象		胎内市																								
計画の目標		<p>中条駅周辺地域の一体的整備と市域道路や公共施設の整備により住む人が安心・快適に暮らせるやさしいまちの形成</p> <p>① 東西自由通路・高架駅舎・駅前広場・アクセス道路や周辺道路を整備することで鉄道を挟んだ東西の移動環境、円滑な交通アクセスを確保し、安心して快適な人にやさしい交通移動環境の整備を図る</p> <p>② 公共施設や道路のアクセスフリー化の推進により高齢者や全ての人が安心して暮らし続けられる持続可能なまちの構築を図る</p> <p>③ 鉄道を境とする東西移動の円滑化を図ると共に、コンパクトな市内の公共施設・商業施設など日常生活を支える多様な機能の連携を築き、人にやさしいまちの形成を図る</p>																														
計画の成果目標（定量的指標）		<p>駅利用者の減少抑制を目指し 1,213人/日（H23）の数値より 毎年減少傾向にある利用者減少率の向上を目指す。</p> <p>駅前広場の混雑度低下を目指し 10台（H24）の数値から 構外路上待機車両 0台（H29）を達成させる。</p> <p>地区内居住人口を 404世帯（H24）から 404世帯以上（H29）の増加を目指す</p>																														
定量的指標の定義及び算定式		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H25当初)</th> <th>中間目標値 (H27末)</th> <th>最終目標値 (H29末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JR中条駅利用者数の調査 東日本旅客鉄道株式会社公表数値により対前年減少率を算定 H23→H24 減少率 ▲1.44% (直近10カ年で ▲23%減少)</td> <td>1,213人/日 (▲1.44%)</td> <td>-</td> <td>対前年利用者 減少率 減</td> <td rowspan="3">事業完了時において 効果が現れるため 中間目標値の設置はない</td> </tr> <tr> <td>送迎ピーク時間における広場外駐停車両数の調査 夕方上下線同時入線時間において広場に入りきれず路上で待機している送迎車両台数</td> <td>10台</td> <td>-</td> <td>0台</td> </tr> <tr> <td>周辺地域内に居住する人（世帯数）数の調査 住民基本台帳に搭載される西本町地区の世帯数</td> <td>404世帯</td> <td>-</td> <td>増加</td> </tr> </tbody> </table>											定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)	JR中条駅利用者数の調査 東日本旅客鉄道株式会社公表数値により対前年減少率を算定 H23→H24 減少率 ▲1.44% (直近10カ年で ▲23%減少)	1,213人/日 (▲1.44%)	-	対前年利用者 減少率 減	事業完了時において 効果が現れるため 中間目標値の設置はない	送迎ピーク時間における広場外駐停車両数の調査 夕方上下線同時入線時間において広場に入りきれず路上で待機している送迎車両台数	10台	-	0台	周辺地域内に居住する人（世帯数）数の調査 住民基本台帳に搭載される西本町地区の世帯数	404世帯	-	増加
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																												
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)																													
JR中条駅利用者数の調査 東日本旅客鉄道株式会社公表数値により対前年減少率を算定 H23→H24 減少率 ▲1.44% (直近10カ年で ▲23%減少)	1,213人/日 (▲1.44%)	-	対前年利用者 減少率 減	事業完了時において 効果が現れるため 中間目標値の設置はない																												
送迎ピーク時間における広場外駐停車両数の調査 夕方上下線同時入線時間において広場に入りきれず路上で待機している送迎車両台数	10台	-	0台																													
周辺地域内に居住する人（世帯数）数の調査 住民基本台帳に搭載される西本町地区の世帯数	404世帯	-	増加																													
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,408.0百万円	A	2,408.0百万円	B	-	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%																						
交付対象事業																																
A1 基幹事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																	
1-A-1	都市再生	一般	胎内市	直接	胎内市	中条駅西口周辺地区都市再生整備計画		胎内市	H25	H26	H27	H28	H29	2,408																		
合計													2,408																			
B 関連社会資本整備事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																	
									H25	H26	H27	H28	H29																			
合計																																
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考																	
C 効果促進事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																	
									H25	H26	H27	H28	H29																			
合計													0																			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考																	
1-C-1																																
1-C-2																																
1-C-3																																

(参考図面) 市街地整備



# 都市再生整備計画(第2回変更)

なかじょうえきにしぐちしゅうへん  
中条駅西口周辺地区

にいがた たいないし  
新潟県 胎内市

平成27年2月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	胎内市	地区名	中条駅西口周辺地区	面積	470 ha
-------	-----	------	-----	-----	-----------	----	--------

計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度	交付期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度
------	---------------------	------	---------------------

### 目標

中条駅周辺地域の一体的整備と市域道路や公共施設の整備により住む人が安心・快適に暮らせるやさしいまちの形成

- ① 東西自由通路・高架駅舎・駅前広場・アクセス道路や周辺道路を整備することで鉄道を挟んだ東西の移動環境、円滑な交通アクセスを確保し、安心で快適な人にやさしい交通移動環境の整備を図る
- ② 公共施設や道路のアクセスフリー化の推進により高齢者や全ての人が安心して暮らし続けられる持続可能なまちの構築を図る
- ③ コンパクトなまちづくりを目指すため鉄道を境とする東西移動の円滑化を図ると共に、コンパクトな市域内の公共施設・商業施設など日常的な生活を支える多様な機能の連携を築き、人にやさしいまちの形成を図る

### 目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

胎内市は、平成17年9月に旧中条町と旧黒川村が合併し新たな市となりました。これまで中条町都市計画マスタープランの基、目指すべき将来像とその実現に向け諸施策を実施し本町地区沿道土地区画整理事業(4.2ha)や中条西中央土地区画整理事業(17.5ha)、中条駅前広場整備事業(東口)、日本海東北自動車道の延伸、奥山荘城館整備事業など数々のまちづくり事業を実施してきました。

平成23年には、胎内市都市計画マスタープランを策定し『自然が活きる、人が輝く、交流のまち』を目指し合併による新たな都市像の実現や近年の人口減少、超高齢化社会の到来、産業構造の転換など胎内市をめぐる社会環境の変化に対応し、持続可能なまち(胎内市)として発展できるよう総合的に新しいまちづくりを進めています。また、平成26年第4回胎内市定例議会にて、同地区を平成28年度を目処に策定する立地適正化計画に位置付け、継続的にまちづくりを推進する事を宣言。

中条駅の周辺地域は、胎内市の中心に位置付けられ商業地域・工業地域・住居地域に指定され各エリアそれぞれの顔を持ち、表口となる中条駅東口では、日本海東北自動車道の中条IC以北の整備とJR白新線・羽越本線の輸送力強化計画の基、道路交通・公共交通ネットワーク機能強化を図り、胎内市の環境変化に対応した、駅の利用者のみならず全ての人に対して利便性の高い交通結節点と成るべく駅前広場の整備を行いました。東口駅前広場では、約5,000㎡に「交通広場機能」、「環境広場機能」、「防災広場機能」を確保し、前面街路の築造と併せ周辺に自転車駐輪場(2棟)・P&R自動車駐車場(70台分)を整備し新しいまちの顔として機能しています。

そして、胎内市都市計画マスタープランにおいては、これまでの全国画一的な拡大型のまちづくりから、自立し持続可能な地域となるため胎内市独自のまちづくりへ方向転換し、これからは『都市機能が集約したコンパクトなまちの構築』、『独自の魅力を活かした個性的な都市整備』を目指すこととしています。市民アンケートによるこれまでのまちづくりに対する調査結果では、『中心市街地の形成』や『鉄道・デマンドタクシー・路線バスの利便性』について満足度が低く、生活への重要度が高い数値が得られ、これからの結果から『ひとにやさしいまちづくり』、『産業集積の有効活用』を重点目標に掲げ優先的にまちづくりを行うこととしています。

○現況 平成23年に市民及び中条駅を利用する学生からなる中条駅周辺地区まちづくり懇話会が開催され、周辺地区のまちづくりの方向性をワークショップ等により市民目線で検討を行い中条駅西口周辺整備基本構想が策定され、これをまちづくりのベースとし胎内市全体を見据えたなかで事業計画し展開を図る事とし、本計画により中条駅周辺地域の一体的整備と周辺道路や公共施設の整備により住む人が安心・快適に暮らせるやさしいまちの形成を目指します。

コンパクトなまちの構築

鉄道を境とする東西の移動を円滑にし、まちなかの公共施設への移動や商業施設への買い物など日常的な生活を支える多様な機能を集約し、コンパクトなまちの構築を目指す。

鉄道を挟んだ東西の移動環境整備

市街地中心部のJR羽越本線を横断する道路のほとんどは平面交差となっているため、冬季の悪天候時は渋滞し、通過が困難になります。そのため、都市計画道路3.4.6西町線を整備し、東西の移動環境の改善を図る。

中条駅西口広場の整備

中条駅東口における朝夕の送迎の渋滞を分散するとともに東西を交流する西の玄関口として整備を図る。

市民生活に密着した施設整備による快適なまちづくりの実現

まちのイメージとしての交通結節点整備、胎内に訪れた人、誰もが快適に過ごせる交流促進施設の整備を行う

課題

- ・計画的な都市基盤整備を行ってきた一方で、中条駅西側では低未利用地が存在したり、市街地縁辺部や国道7号沿いでは、基盤整備が不十分なまま、農地や商業地、住宅地が混在した地域も見られる。
- ・商業については、沿道区画整理事業により、各商店もリニューアルされたものの、空き地や空き店舗も見られるため、本町通り商店街の持つ個性と国道7号沿いの大型店の持つ集客力とが連携を図り、魅力ある商業地を形成していく必要がある。
- ・人口や産業の集積がある程度おさまりを見せつつあることから、市街地の拡大を抑制し、コンパクトで効率的なまちづくりが求められている。
- ・都市計画道路は、改良済延長が74.8%で、新潟県と比較すると整備率は高いが、市街地内では未整備の箇所が多く、優先順位を決め整備を進める必要がある。また、JR羽越本線の線路を横断する道路のほとんどは平面交差となっており、冬期間や悪天候の日には渋滞が発生しているため、線路を挟んだ東西の移動環境を容易にする整備が必要となっている。

将来ビジョン(中長期)

第1次胎内市総合計画において「自然が活きる、人が輝く、交流のまち」を基本理念に掲げ、市民共有の財産を大切に活かし、新たな時代を見据え、まちづくりに責任を持ち、自ら参加・参画する市民と、開かれた行政との協働によって地域の特性を尊重した自立都市の実現を目指している。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
道路利用者の満足度	%	市民アンケート調査等による意見・要望数 意見要望に占める満足度の割合(満足>不満)	交通結節点及び市内道路の整備により道路の利便性が向上する	28%	H25	満足率の向上	H29
駅利用者の減少抑制	人/日	JR東日本の公表する中条駅乗車人員数による計画終了時における対前年減少率	駅へのアクセスを改善することにより公共交通の利便性が向上する	1,213人/日	H23	減少率向上	H29
西口周辺土地利用	%	地区内における生活系土地利用 区域総面積に占める生活系用途(住居・商業・工業)面積	駅周辺の利便性が向上することにより周辺に人が集まるため、まちの賑わいを創出する土地利用が図られる	%	H24	比率の向上	H29
地区内居住人口	世帯	周辺地域内に居住する人の数 住民基本台帳に登録される西本町地区の世帯数	西口周辺整備によりコンパクトシティが形成され、周辺に居住する世帯(人	404世帯	H24 (12.12末)	人口の増	H29
駅前広場の混雑度低下	台	送迎ピーク時間における広場外駐停車両数 夕方上下線同時入線時間において広場に入りきれず路上で待機	西口が整備される事により、利用者が分散され駅前の交通渋滞及び路上駐車が減少する	10台	H24	0台	H29

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・JR中条駅を中心とした交通結節点の強化と道路整備を行い渋滞緩和と、利便性の向上を図り、道路利用の満足性を高めると共に公共交通の利用を促進する。</p>	<p>街路 中条駅西通り線道路築造工事(基幹事業) 市道338 望城線 道路拡幅工事(基幹事業) 市道410 新栄町駅前線 道路改築工事(基幹事業) 地域生活基盤施設 東西自由通路建築工事(基幹事業) 街路 中条胎内線 道路改築工事(基幹事業) 街路 中条駅前通り線 道路改築工事(関連事業)</p>
<p>・市民生活に密着した施設整備による快適なまちづくりの実現 まちのイメージとしての交通結節点整備、胎内に訪れた人が誰もが快適に過ごせる交流促進施設の整備を行う</p>	<p>地域生活基盤施設 中条駅西口交通広場造成工事(基幹事業) 市道中条病院前線 道路改築工事(基幹事業) 観光案内交流センター(基幹事業) 中条駅交流センター駐車場(基幹事業) 中条駅西口交通広場(基幹事業) (仮称)胎内市総合体育館建設(提案事業) 二葉町防災広場(基幹事業) (仮称)胎内市西条防災広場(基幹事業)</p>
<p>・JR中条駅舎を高架化し鉄道を挟んだ東西の移動環境整備を行い、駅利用者並びに歩行者や自転車の移動空間を形成する 高齢者のさまざまな活動や交流を支援するため、交通結節点や周辺施設において快適な歩行者空間を整備します。また、環境に優しい乗り物として自転車の交通空間を整備し、自家用車からの転換を図り低炭素社会を目指します。</p>	<p>中条駅高架駅舎建築工事(提案事業) 地域生活基盤施設 東西自由通路建築工事(基幹事業) 中条駅西口自転車駐車場(基幹事業)</p>
<p><b>その他</b> 平成27年度より立地適正化計画を策定し同地区を都市機能誘導地域として整備を継続する予定である。 立地適正化計画策定の宣言：平成26年第4回胎内市議会定例会 吉田市長 施政方針演説にて『平成27年度から策定事業に着手 平成28年度を目処に計画策定』を宣言</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	2,408	交付限度額	963.2	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路	街路 都市計画道路築造	(都) 中条駅西口通り線	胎内市	直	L=250m W=16m	H25	H29	H26	H28	275	275	275	0	275
道路	市道拡幅工事	市道338 望城線	胎内市	直	L=150m W=6m	H25	H29	H27	H27	21	21	21	0	21
道路	交差点改良工事	市道 中条病院前線	胎内市	直	L=65m W=16m	H25	H29	H28	H28	10	10	10	0	10
道路	市道 融雪施設更新・舗装オーハ	市道410 新栄町駅前線	胎内市	直	L=600m W=9m	H25	H29	H26	H29	75	75	75	0	75
道路	街路 融雪施設更新・舗装オーハ	(都) 中条胎内線	胎内市	直	L=150m W=8.5m	H25	H29	H25	H25	12	12	12	0	12
道路	市道 道路築造	市道 中条駅西口南線(仮称)	胎内市	直	L=60m W=9.5m	H28	H29	H25	H27	31	31	31	0	31
道路(地方都市リノベーション事業)														
公園		二葉町防災広場(仮称)	胎内市	直	A=3,000㎡	H27	H29	H27	H28	25	25	25	0	25
公園(地方都市リノベーション事業)														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設	交通広場・駐輪場 防災広場		胎内市	直		H25	H29	H25	H29	226	226	226	0	226
高質空間形成施設														
高次都市施設			胎内市	直		H25	H28	H25	H29	1,078	1,078	1,078	0	1,078
地方都市リノベーション推進施設														
生活拠点施設														
既存建造物活用事業(地方都市リノベシヨ)														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型 沿道等整備型 密集住宅市街地整備型 耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,753	1,751	1,751	0	1,753

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業	JR中条駅高架化	羽越本線JR中条駅	胎内市/JR東日本	直	A=373㎡	H25	H28	H25	H28	434	434	404	30	404
	(仮称)胎内市総合体育館建設	新潟中条中核工業団地	胎内市	直		H25	H28	H25	H27	2,050	250	250	0	250
事業活用調査	事業効果分析調査		胎内市	直		H25	H29	H29	H29	1	1	1	0	1
まちづくり活動推進事業														
合計										2,485	685	655	30	655

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
中条駅前通り線道路改良	(都) 中条駅前通り線	新潟県		L=221m		○			H18	H27	735
中条駅橋上駅建設事業(鉄道事業者負担金)	羽越本線JR中条駅	JR東日本		A=373㎡			○		H26	H28	434
西中央通り線道路改築事業	(都) 西中央通り線	新潟県		L=660m		○			H27	H34	1,300
合計											2,469

合計(A+B) 2,408



都市再生整備計画の区域

中条駅西口周辺地区(新潟県胎内市)	面積	470 ha	区域	胎内市本町、東本町、新和町、あかね町の各全地区及び表町、新栄町、西本町、西栄町、西条町、若松町、二葉町、羽黒、中条、半山、飯角、鴻巣、倉敷町の一部
-------------------	----	--------	----	---

